

みんなのオアシスがあったらいいなあと思いませんか？

「マザーズハウス」

みんなで創ろうよ！！

メルボルン郊外（豪）にある「the Gawler Foundation」<https://gawler.org/>
(2006年～4年連続でプログラムに参加し、創設者Ianと親しく交流した)



← 【左から、Ian Gawler (創設者)、Robyn (カウンセラー)、SAYOKO】 2006年、Ianが開発したwellbeing program「10days life & living」に参加した。その後、meditationを主にしたプログラム、リーダートレーニング、weekend retreat program に参加した。



← 交流の場。多目的ルーム。50人程度入れる。絨毯敷きで机はなく、椅子が壁にそって置かれている。イベントは、セッション、お茶会、映画上映、ミニコンサート、医師ら専門家による講演、グループワークなど、年間通じてプログラムが実施されている。



← サンクチュアリ。Meditation (瞑想) を行う部屋。座ると、目線に窓があり、緑豊かな景色が自然に視覚に入る。Meditationをしたいひとは自由に入出入りできる。癒しの空間として人気があった。静かに過ごせるこころ落ち着く場所。



← ダイニングルーム。朝食、昼食、夕食が注文できる。食事は有料。飲み物はセルフサービス。お湯は常時用意されていた。オーガニックメニューのレシピは出版物となって販売されていた。敷地内の畑では、食材を有機農法で栽培していました！



← 中庭。ここれでパーティーやコンサートが行われる。実施されるプログラムは、「wellbeing」をテーマに取り上げていた。ストレス軽減のためのMeditationとオーガニックメニューが特徴。ここは、心身を癒し、リフレッシュできる所だなあ、と感動しました。

発起人：NPO法人ぴあサポートわかば会 <http://witness.info>

理事長：堤佐代子、監事：堤寛

事務局 〒470-1151 愛知県豊明市前後町善江1735 パルネス前後412

メール：wakabakai-sayoko@r7.dion.ne.jp FAX：0562-85-6998

コミュニティーに心身癒される場をつくる

母さんの家 = マザーズハウス

ここに来るとホっとする、楽しい、元気になれる

運営

NPO法人が運営
有償スタッフ有
ボランティア募集
専門家の応援
市民サポーター



資金

寄付
募金
物販
コンサート
パーティー
賛助会員会費



↑
フェニックス (USAアリゾナ州) にあるサポートハウス (2016年視察)

♥“マザーズハウス”のコンセプト

- ① Non Profit Organization = NPO法人びあサポートわかば会による運営
- ② peer support (互助、仲間同士の助け合い) スピリットを大切に
- ③ self-care (セルフケア = 自分をケアする = 癒す) で自助・自立を大切に
- ④ facilitation (他者の主体性を尊重する) 姿勢で関わることを大切に
- ⑤ health は heal (= 心身を癒す) が語源。癒される空間づくり
- ⑥ みんなのオアシス (平日10時~16時 フリースペース)
- ⑦ 土日祝はチャリティーまたは有料イベント (音楽、落語、朗読、などなど)
- ⑧ 情報発信 (地域ネットワークの情報発信 = チラシ、リーフレット等を置く)
- ⑨ オリジナル商品販売で収益を得て運営費にする
- ⑩ 募金、寄付金、協賛金は随時募集する

“マザーズハウス” 建設費用

寄付目標総額 ⇒ 1億円！！

寄付口座 ⇒ 三菱UFJ銀行・大府支店 普通 0149572
口座名義 ⇒ マザーズハウス ツツミュタカ